

デーヴォ ガイド



2024.1.22-28

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

- 8:14 弟子たちは、パンを持って来るのを忘れ、一つのパンのほかは、舟の中に持ち合わせがなかった。
- 8:15 そのとき、イエスは彼らに命じられた。「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種には、くれぐれも気をつけなさい。」
- 8:16 すると弟子たちは、自分たちがパンを持っていないことについて、互いに議論し始めた。
- 8:17 イエスはそれに気がついて言われた。「なぜ、パンを持っていないことについて議論しているのですか。まだ分からないのですか、悟らないのですか。心を頑なにしているのですか。」
- 8:18 目があっても見ないのですか。耳があっても聞かないのですか。あなたがたは、覚えていないのですか。」
- 8:19 わたしが五千人のために五つのパンを裂いたとき、パン切れを集めて、いくつのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「十二です。」
- 8:20 「四千人のために七つのパンを裂いたときは、パン切れを集めて、いくつのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「七つです。」
- 8:21 イエスは言われた。「まだ悟らないのですか。」
- 8:22 彼らはベツサイダに着いた。すると人々が目の見えない人を連れて来て、彼にさわってくださいとイエスに懇願した。
- 8:23 イエスは、その人の手を取って村の外に連れて行かれた。そして彼の両目に唾をつけ、その上に両手を当てて、「何か見えますか」

と聞かれた。

- 8:24 すると、彼は見えるようになって、「人が見えます。木のようですが、歩いているのが見えます」と言った。
- 8:25 それから、イエスは再び両手を彼の両目に当てられた。彼がじっと見ていると、目がすっかり治り、すべてのものがはっきりと見えるようになった。
- 8:26 そこでイエスは、彼を家に帰らせ、「村には入って行かないように」と言われた。

パリサイ人は信仰的であることを誇っている人々で、自分の信仰的な行いを知らしめて、自分は特別だと思わせたい人の象徴です。またヘロデはその逆で、信仰的な生き方には興味がなく、ただこの世の権威や慣わしを重視して生きる人の象徴です。

イエス様がパン種と言われたのは、そのような価値観と生き方が教会では全体に影響を及ぼし、広がってゆくからです。信仰的自己宣伝も世的妥協主義も、クリスチャンはそれを見抜き、影響されないようにする必要があります。

イエス様の奇跡などのみわざにはメッセージが込められていますが、弟子たちはそれを悟りませんでした。パンが十分かどうかは彼らの関心事だったのです。私たちも、主の御手の中にある出来事を見ると、パンなど見える物質的なことに気を取られて、霊的・信仰的なメッセージである主のみこころを悟らないでいるかも知れません。

みこころを悟って、物事の本質を見極めるには、この盲人のように、私たちは自分の力では無理です。主に頼んで、見えるようにしてもらい必要があるのです。またそれは段階的なもので、始めから完全な視点を持った人はいません。主イエスとの交わりの中で、現実の中で見えるようにさせていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 火曜

マルコ



8:27 さて、イエスは弟子たちとピリポ・カイサリアの村々に出かけられた。その途中、イエスは弟子たちにお尋ねになった。「人々はわたしをだれだと言っていますか。」
8:28 彼らは答えた。「バプテスマのヨハネだと言っています。エリヤだと言う人たちや、預言者の一人だと言う人たちもいます。」
8:29 するとイエスは、彼らにお尋ねになった。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」ペテロがイエスに答えた。「あなたはキリストです。」
8:30 するとイエスは、自分のことをだれにも言わないように、彼らを戒められた。
8:31 それからイエスは、人の子は多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長たち、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日後によみがえらなければならないと、弟子たちに教え始められた。
8:32 イエスはこのことをはっきりと話された。するとペテロは、イエスをわきにお連れして、いさめ始めた。
8:33 しかし、イエスは振り向いて弟子たちを見ながら、ペテロを叱って言われた。「下がれ、サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」
8:34 それから、群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた。「だれでもわたしに従って来たければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」
8:35 自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音のためにいのちを失う者は、それを救うのです。
8:36 人は、たとえ全世界を手に入れても、自

分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。

8:37 自分のいのちを買い戻すのに、人はいったい何を差し出せばよいのでしょうか。

8:38 だれでも、このような姦淫と罪の時代にあつて、わたしとわたしのことばを聖なるなら、人の子も、父の栄光を帯びて聖なる御使いたちとともに来るとき、その人を恥じます。」

9:1 またイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。ここに立っている人たちの中には、神の国が力をもって到来しているのを見るまで、決して死を味わわない人たちがいます。」

本やテレビまたはユーチューブなどでは、知識の乏しい人々がイエス様のことを様々に論じますが、私たちはそれらに影響される必要はありません。イエス様は「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか」と問われます。弟子たちが話し合いで意見をまとめるわけではありませんから、「あなたがたは、それぞれ自分自身で、だれだと言いますか」ということです。

自分自身の信仰が大切なのです。それもイエス様が、「だれ」であるのかということが一番重要です。イエス様は王でしょうか、または愛の救い主でしょうか、それとも全能の主権者でしょうか。どれも当てはまりますが、ペテロは「あなたは、キリストです。」と明言しました。キリストとは油注がれた者という意味で、イスラエルでは王、預言者、祭司を意味しました。イエス様は絶対的な主権者である王、御父のみこころと一つに語る完全な預言者、そしてご自身をいけにえとしてさげた永遠の祭司です。イエス様こそが私たちににとって必要なお方です。

ペテロはイエス様への信仰を告白しましたが、その救いのみわざについてはまだわかりませんで

した。十字架にかかって罪を負うという苦難のキリストを知らなかったのです。そこでイエス様はご自分について来る者は、楽なことではなくむしろ十字架を負う覚悟が必要と語ったのです。

私たちも信仰は十字架であるとの覚悟が必要でしょう。なぜならこの世には真理に逆らう人が多いからです。この世にあつてもイエス様を恥としないで、行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



➤ 24日 水曜

マルコ

- 9:2 それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でその御姿が変わった。
- 9:3 その衣は非常に白く輝き、この世の職人には、とてもなし得ないほどの白さであった。
- 9:4 また、エリヤがモーセとともに彼らの前に現れ、イエスと語り合っていた。
- 9:5 ペテロがイエスに言った。「先生。私たちがここにいることはすばらしいことです。幕屋を三つ造りましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」
- 9:6 ペテロは、何を言ったらよいのか分からなかったのである。彼らは恐怖に打たれていた。
- 9:7 そのとき、雲がわき起こって彼らをおおい、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。彼の言うことを聞け。」
- 9:8 彼らが急いであたりを見回すと、自分たちと一緒にいるのはイエスだけで、もはやだれも見えなかった。
- 9:9 さて、山を下りながら、イエスは弟子たちに、人の子が死人の中からよみがえる時まで、今見たことをだれにも話してはならない、と命じられた。
- 9:10 彼らはこのことばを胸に納め、死人の中からよみがえると言われたのはどういう意味か、互いに論じ合った。
- 9:11 また弟子たちは、イエスに尋ねた。「なぜ、律法学者たちは、まずエリヤが来るはずだと言っているのですか。」
- 9:12 イエスは彼らに言われた。「エリヤがま



ず来て、すべてを立て直すのです。それはどうして、人の子について、多くの苦しみを受け、蔑まれると書いてあるのですか。

9:13 わたしはあなたがたに言います。エリヤはもう来ています。そして人々は、彼について書かれているとおり、彼に好き勝手なことをしました。」

「神の国が力を持って到来」というのは、再臨のことであるなら時期的には合いません。それは原語的な意味からも、神の支配ということです。すなわち十字架と復活を表していると考えられます。

続いてイエス様は弟子たちの前で栄光の姿に変わり、エリヤとモーセと共に語りました。二人はそれぞれ預言と律法の中心人物で、旧約の成就について語られていたのだと思われます。

ペテロはおどろいて意味のないことを口走ってしまいました。彼のすべきことは「彼（イエス）の言うことを聞」くことでした。私たちもどうしたら良いのかが分らなくなるときがあるでしょう。そのときはイエス様のことばを聞くことです。鍵はみことばであり、祈りです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 木曜

マルコ



9:14 さて、彼らがほかの弟子たちのところに戻ると、大勢の群衆がその弟子たちを囲んで、律法学者たちが彼らと論じ合っているのが見えた。

9:15 群衆はみな、すぐにイエスを見つけると非常に驚き、駆け寄って来てあいさつをした。

9:16 イエスは彼らに、「あなたがたは弟子たちと何を論じ合っているのですか」とお尋ねになった。

9:17 すると群衆の一人が答えた。「先生。口をきけなくする霊につかれました私の息子を、あなたのごとくに連れて来られました。」

9:18 その霊が息子に取りつくと、ところかまわず倒します。息子は泡を吹き、歯ぎしりして、からだをこわばらせます。それであなたのお弟子たちに、霊を追い出してくださいとお願ひしたのですが、できませんでした。」

9:19 イエスは彼らに言われた。「ああ、不信仰な時代だ。いつまで、わたしはあなたがたと一緒にいなければならないのか。いつまで、あなたがたに我慢しなければならないのか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

9:20 そこで、人々はその子をイエスのもとに連れて来た。イエスを見ると、霊がすぐ彼に引きつけを起こさせたので、彼は地面に倒れ、泡を吹きながら転げ回った。

9:21 イエスは父親にお尋ねになった。「この子にこのようなことが起こるようになってから、どのくらいたちますか。」父親は答えた。「幼い時からです。」

9:22 霊は息子を殺そうとして、何度も火の中や水の中に投げ込みました。しかし、おでき

になるなら、私たちをあわれんでお助けください。」

9:23 イエスは言われた。「できるなら、と言うのですか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」

9:24 するとすぐに、その子の父親は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」

9:25 イエスは、群衆が駆け寄って来るのを見ると、汚れた霊を叱って言われた。「口をきけなくし、耳を聞こえなくする霊。わたしはおまえに命じる。この子から出て行け。二度とこの子に入るな。」

9:26 すると霊は叫び声をあげ、その子を激しく引きつけさせて出て行った。するとその子が死んだようになったので、多くの人たちは「この子は死んでしまった」と言った。

9:27 しかし、イエスが手を取って起こされると、その子は立ち上がった。

9:28 イエスが家に入られると、弟子たちがそっと尋ねた。「私たちが霊を追い出せなかったのは、なぜですか。」

9:29 すると、イエスは言われた。「この種のもものは、祈りによらなければ、何によっても追い出すことができません。」

弟子は祈りを忘れ、律法学者は敵の失敗に乗じて議論をふっかけ、人々は野次馬となり集まっていました。そこでイエス様は「不信仰な世」と、嘆かれました。

弟子たちのように、何かマニュアル化した祈りの方法によって何ができると考えてはなりません。すべては主ご自身の力に力があり解決があり

ます。私たちも「不信仰」と自分を悔い改め「お助けください」と主により頼み、「私たちに追い出せ」るかどうかではなく、主に祈ることです。

自分自身が抱えている問題に関しても、この出来事と重ね合わせて考えてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願ひなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 金曜

マルコ



9:30 さて、一行はそこを去り、ガリラヤを
通って行った。イエスは、人に知られたくな
いと思われた。

9:31 それは、イエスが弟子たちに教えて「人
の子は人々の手に引き渡され、殺される。し
かし、殺されて三日後によみがえる」と言っ
ておられたからである。

9:32 しかし、弟子たちにはこのことばが理解
できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐
れていた。

9:33 一行はカペナウムに着いた。イエスは家
に入ってから、弟子たちにお尋ねになった。
「来る途中、何を論じ合っていたのです
か。」

9:34 彼らは黙っていた。来る途中、だれが一
番偉いか論じ合っていたからである。

9:35 イエスは腰を下ろすと、十二人を呼んで
言われた。「だれでも先頭に立ちたいと思
う者は、皆の後になり、皆に仕える者になりな
さい。」

9:36 それから、イエスは一人の子どもの手
を取って、彼らの真ん中に立たせ、腕に抱いて
彼らに言われた。

9:37 「だれでも、このような子どもたちの一
人を、わたしの名のゆえに受け入れる人は、
わたしを受け入れるのです。また、だれでも
わたしを受け入れる人は、わたしではなく、
わたしを遣わされた方を受け入れるので
す。」

イエス様は、弟子たちがよく理解しないままでガ
リラヤ地域の人々と話し、ご自身の受難のことが広
まることをよしとされませんでした。ガリラヤは弟
子たちの出身地であって知り合いも多かったからで

しょう。また何よりも、イエス様の十字架のとき
はまだ先のことだったからです。イエス様は弟子
たちに神の国の真理を教える必要があったのです。

それはこの世の価値観とは全く違うことです。
「だれが一番偉いか」とうことがこの世の価値観
であり、それによって仕事も人間関係も政治も国
際関係も動いていますし、またそれによって争い
が生まれます。しかし神が人々の救いのためにご
自身、徹底的に謙ってくださったのなら、そのよ
うな「だれが偉い」などという価値観は、恥ずか
しいようなものです。

弟子たちはそれが分らずに、論じ合っていたが
イエス様はそれを正されました。私たちも人
と比べて上か下かとうような、または偉いかどう
か、さらには強いかどうかなどという価値観から
解放されましょう。それが心を乱す原因でもある
のです。また神様のすばらしさを見失う原因でも
あるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのだ
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 27日 土曜

マルコ



9:38 ヨハネがイエスに言った。「先生。あなたの名によって悪霊を追い出している人を見たので、やめさせようと思いました。その人が私たちについて来なかったからです。」

9:39 しかし、イエスは言われた。「やめさせてはいけません。わたしの名を唱えて力あるわざを行い、そのすぐ後に、わたしを悪く言える人はいません。」

9:40 わたしたちに反対しない人は、わたしたちの味方です。

9:41 まことに、あなたがたに言います。あなたがたがキリストに属する者だということで、あなたがたに一杯の水を飲ませてくれる人は、決して報いを失うことはありません。」

9:42 また、わたしを信じるこの小さい者たちの一人をつまずかせる者は、むしろ、大きな石臼を首に結び付けられて、海に投げ込まれてしまうほうがよいのです。」

9:43 もし、あなたの手があなたをつまずかせるなら、それを切り捨てなさい。両手がそろっていて、ゲヘナに、その消えない火の中に落ちるより、片手でいのちに入るほうがよいのです。」

9:44 【本節欠如】

9:45 もし、あなたの足があなたをつまずかせるなら、それを切り捨てなさい。両足がそろっていてゲヘナに投げ込まれるより、片手でいのちに入るほうがよいのです。」

9:46 【本節欠如】

9:47 もし、あなたの目があなたをつまずかせるなら、それをえぐり出しなさい。両目がそろっていてゲヘナに投げ込まれるより、片目で神の国に入るほうがよいのです。」

9:48 ゲヘナでは、彼らを食らうじ虫が尽きることがなく、火も消えることはありません。」

9:49 人はみな、火によって塩気をつけられます。」

9:50 塩は良いものです。しかし、塩に塩気がなくなったら、あなたがたは何によってそれに味をつけるのでしょうか。あなたがたは自分自身のうちに塩気を保ち、互いに平和に過ごさなさい。」

「私たちの仲間ではないので、やめさせました。」というのは、党派心です。イエス様は他のグループの働き人であっても、主のためにやっているなら味方として見なさいと言われます。もしも彼らが間違っているのなら、まずは味方として論ず必要があるでしょう。

イエス様は自分をつまずかせるものは、それを断つ決断をしなければと言っておられます。それは痛みを伴うものですが、自分自身の人生や存在そのものを失うことを考えたら、むしろ幸いでしょう。

「火」とは神のさばきです。神のさばきがあることによって、またそれを知ることによって、私たちの価値観の独自性（この世と違うもの）が生まれます。そのような独自性を、イエス様は塩にたとえています。神様がこの世のすべてを裁くお方であるということを知れば、この世に流されずに、本当の価値観で生きることができるようでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 28日 日曜

マルコ



10:1 イエスは立ち上がり、そこからユダヤ地方とヨルダンの川向こうに行かれた。群衆がまたイエスのもとに集まって来たので、再びいつものように彼らを教え始められた。

10:2 すると、パリサイ人たちがやって来て、イエスを試みるために、夫が妻を離縁することは律法にかなっているかどうかと質問した。

10:3 イエスは答えられた。「モーセはあなたがたに何と命じていますか。」

10:4 彼らは言った。「モーセは、離縁状を書いて妻を離縁することを許しました。」

10:5 イエスは言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、この戒めをあなたがたに書いたのです。」

10:6 しかし、創造のはじめから、神は彼らを男と女に造られました。

10:7 『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、

10:8 ふたりは一体となる』のです。ですから、彼らはもはやふたりではなく、一体なのです。

10:9 こういうわけで、神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。」

10:10 家に入ると、弟子たちは再びこの問題についてイエスに尋ねた。

10:11 イエスは彼らに言われた。「だれでも、自分の妻を離縁し、別の女を妻にする者は、妻に対して姦淫を犯すのです。」

10:12 妻も、夫を離縁して別の男に嫁ぐなら、姦淫を犯すのです。」

10:13 さて、イエスに触れていただくこと、人々が子どもたちを連れて来た。ところが弟子たちは彼らを叱った。

10:14 イエスはそれを見て、憤って弟子たち

に言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。邪魔してはいけません。神の国はこのような者たちのものなのです。」

10:15 まことに、あなたがたに言います。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」

10:16 そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。

パリサイ人は律法さえ守れば良いという態度です。そのような人は外面的なことに気を遣うことになります。そのような人は結婚の意味を考えず、ただ決まり守れば良いと考えるのです。

イエス様は結婚の大切な意味から教えます。それは、神様と人の愛の関係を表す、重要なものですから、「人は神が結び合わせたものを引き離しては」ならないのです。

律法主義のように外面だけをつくろうような生き方ではなく、神様のみこころの本質を生きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

